

令和7年度第1回「弥富市地域公共交通活性化協議会」

料金運賃部会 議事録

日時：令和7年6月30日（月）

午前9時から

場所：弥富市役所 3階 大会議室

○議 事

1.開会

事務局 (藤井課長)	・定刻前だが、ただいまから、令和7年度第1回弥富市地域公共交通活性化協議会、料金運賃部会を開催する。 ・当部会は、令和5年10月1日付けの道路交通法改正に伴い、運賃については、独占禁止法に抵触しないように構成員を限定して開催することが必要になったため、公共交通協議会とは別に開催するものとなる。協議会はこの後10時より開催する。 ・なお、本日の運賃協議にあたり、道路運送法第9条第5項で規定する公聴会として、市ホームページにて令和7年5月26日から6月25日まで意見募集を行った。7名から21件のご意見いただいた。後ほどご報告させていただく。
---------------	---

2.あいさつ

事務局 (藤井課長)	・会議の開会にあたり、「弥富市地域公共交通活性化協議会規約」第11条第4項により、市民生活部長が本部会の部会長となっているので、部会長からご挨拶申し上げます。
部会長	・本日は、お忙しいところ朝早くからご出席いただきありがとうございます。運賃料金部会の部会長を務める市民生活部長の飯田である。 ・本日は、この部会をはじめ、10時からの協議会を含め長時間にわたる。よろしく願いいたします。
事務局 (藤井課長)	・会議に入らせていただく。ここからは、部会長にて会議の進行をお願いする。

3.議題

(1) コミュニティバス停留所新設・移設と毛色見直し及び運賃改正（案）について

部会長	・次第3、議題（1）について、事務局より説明をお願いする。
事務局 (村上)	○資料説明 ・議題（1）、コミュニティバス停留所新設・移設と経路の見直し及び運賃改正（案）について説明させていただく。 ・既に運行している協議路線等とは別の経路・区域で協議路線等を設定して運行する場合にも、料金運賃部会での協議が必要となっている。それに伴い、まず、コミュニティバス停留所新設・移設と経路の見直しについて説明させていただく。 ・令和7年10月1日より、実証実験としてデマンド交通を導入することを受

	け、現行のきんちゃんバスの利用状況を踏まえたルート・停留所とダイヤの見直しを行う。 ・変更内容の適用後も継続してきんちゃんバスの利用状況を把握し、ダイヤの改善など利便性の向上に向けた取り組みや運行の見直しを検討していく。 ・ルート・停留所の見直しについて、内容は以下の表のとおりになる。 ・東部ルートについて、既存の全ルートの運行を休止する。 ・北部ルートについて、現行の利用状況を踏まえ、利用が一定程度以上ある停留所を残した運行ルートとし、運行しないルートは運休扱いとする。 ・北部ルートの停留所について、ルート変更により海南病院、市役所から近鉄弥富駅で降車するため「近鉄弥富駅北口」バス停を新設する。 ・また、以前から乗降時の安全面の観点で地域から要望のあった「白鳥コミュニティセンター」バス停の移設を行う。 ・ルート変更により運休する「スギ薬局」バス停の代わりとして、「桜セントラルクリニック」バス停を新設する。 ・また、右折時の安全性を考慮し、「南前新田交差点」バス停を移設する。 ・続いて南部ルート。ルートについて、現行の利用状況を踏まえ、利用が一定程度以上ある停留所を残した運行ルートとし、運行しないルートは運休扱いとする。 ・停留所について、北部ルートと同様に「近鉄弥富駅北口」の新設、「桜セントラルクリニック」バス停の新設、「南前新田交差点」バス停の移設がある。 ・これらを反映した、令和7年10月1日以降の運行ルート案は2ページのとおりである。 ・具体的な停留所の新設・移設場所は3ページから5ページのとおりであるが、説明を割愛させていただく。 ・現行のきんちゃんバスの利用状況やデマンド交通の運行内容を踏まえ、以下の表のとおりダイヤを見直す。 ・6ページにダイヤを載せている。 ・具体的には、東部ルートは全ルートの運行を休止、北部ルートは利用の多い8時台～14時台のみ、南部ルートは通学通勤需要の多い朝夕の時間帯と遅い時間帯の利用需要を把握するため、試験的に21時台、22時台も運行する。 ・続いて、既に運行している協議路線等における運賃を改定する場合として、協議が必要であるので、運賃改正について説明させていただく。 ・7ページをご覧ください。 ・令和7年10月1日から実証運行を開始するデマンド型交通「チョイソコやとみ」の75歳以上の利用料金は100円であり、料金の公平性を保つことや、きんちゃんバス路線の確保・維持のため、75歳以上の高齢者の運賃を無料から有料に改定する。 ・それに伴い、75歳以上の高齢者用の回数券や定期券を発行する。改定後の運賃や回数券・定期券の料金は以下表のとおりである。 ・審議に移る前に、パブリックコメントの実施結果をご報告させていただく。お手元の資料10をご覧ください。公共交通活性化協議会でもご報告をさせ
--	--

	ていただくが、本会でも報告させていただく。 ・料金に関しては 75 歳以上の無料を継続してほしいという意見があった。こちらについては、令和 7 年 10 月 1 日から実証運行を開始するデマンド型交通「チョイソコやとみ」の 75 歳以上の利用料金は 100 円であり、料金の公平性を保つことや、働き方改革や高齢化で運転手不足による人件費の高騰、世界情勢による物価高騰で運行経費も年々上がっており、持続可能な公共交通のために、今回 75 歳以上の方にも一定の負担をお願いしたいと考えている。 ・ルート・ダイヤの見直しに関する具体的な意見として、「きんちゃんバスを従来どおり、土曜日でも運行してほしい」「福祉センターでの 10 時の会合に間に合うようなダイヤ設定にしてほしい」「通学通勤用として運行するのであれば、既存の路線を継続してほしい」「高校生の利用が増えてきている過程においてバス停の運休をすることには疑問が残る」などの意見があった。 ・「きんちゃんバスを従来どおり、土曜日でも運行してほしい」への対応としては、土曜日はデマンド交通が運行しているので、「チョイソコやとみ」のご利用をお願いしたいと考えている。しかしながら、デマンド交通の利用状況や今後の住民意見交換会での住民意見等を踏まえて注視していきたいと考えている。 ・「福祉センターでの 10 時の会合に間に合うようなダイヤ設定にしてほしい」については、デマンド交通が 8 時から運行するため、そちらをご利用いただければと考えている。 ・「通学通勤用として運行するのであれば、既存の路線を継続してほしい」「高校生の利用が増えてきている過程においてバス停の運休をすることには疑問が残る」の意見については、同様の意見が 6 月下旬に実施した鍋田地区、操出地区など栄南学区の意見交換会でも出ており、市として何かしらの対応をしていかななくてはならないと考えている。先ほどお示しさせていただいたルートを南進する形となるが、案としては朝 1 便を南部コミュニティセンター発ではなく、鍋田公民館発とし、鍋田公民館から「西末広」「東末広」「繰出」「南部コミュニティセンター」へ行き、その後今お示ししている緑色のルートにつなげたいと考えている。 ・また、夕方の便についても同じく「南部コミュニティセンター」から「鍋田公民館」までのルートを追加しようと考えている。 ・この関係で、本日の公共交通活性化協議会後にルートやダイヤの変更が発生するが、基本的にはルートの修正に関しても現在お示ししているルートに一部追加があるような修正なため、今後の修正対応方針も含めて現時点の案を審議いただき、今後、運行主体の三重交通とも協議をさせていただいた上、修正した最終案が固まった段階で書面にて審議を再度させていただきたいと考えている。 ・以上になる。
部会長	・ただいまの説明について、ご意見、ご質問があればお願いします。
児玉委員	・この理由として、デマンド交通チョイソコやとみの利用料金が 100 円だからという理由というのが少し疑問がある。もう少し合理的な理由とか、論理的な理由はあるか。基本的には賛成である。
事務局	・バスとデマンド交通とは本来なら価格差を設けたいと思っていた。バスが基本料金 200 円になっている。75 歳以上は無料で、小中学生も無料。基本が

	200 円になっているので、本当はデマンドはもう少し高い金額、300～500 円ぐらいの間に設定したいと思っていたが、前回 400 円でやったところ、高齢者の方からすると 1 乗車 400 円というのは負担が大きいという状況もあった。 ・なるべく乗りやすい価格で設定してほしいという要望があり、デマンドの価格を 200 円、バスと同じ料金の価格に設定させていただいた。そこからさらに乗りやすい価格として半額という形での価格設定の金額になる。 ・論理的という形ではないが、そういった流れの中で運賃を決定させていただいた。
児玉委員	・住民からは、75 歳以上はなぜ今まで無料だったのが 100 円になるのかという話は聞く。それでも 100 円ぐらいならいいという話は言っているが、質問があったときに的確に答えられる論理的な説明があるとよいと思った。
事務局	・意見として、各地区を回っている中で、100 円でもいいので少しでも協力してもらったらどうかという意見は皆さんからいただいたところでもある。昨今の物価高騰の中で無料という運賃を継続していくのは難しいのではないかとご意見などをいただいた。 ・そういった意見も踏まえ、公共交通の維持というところも含め、高齢者の方に受益者負担という形で何とかお願いしたいと思っている。 ・確かに、なぜ 100 円にしたのかというのはなかなか難しい。
児玉委員	・有料にしたということより、今まで無料だったのが 100 円になるというのは、実際にはそのぐらいいいという話も結構ある。 ・前回、福寿会で話をしたときは、ほとんど賛成というか、不満という声は、100 円ぐらいならよいという声があったことはお伝えする。
事務局	・100 円にしたということは、デマンドを走らせるというところからバスの料金についても、バスが無料、デマンドが 100 円という形だと、なかなかデマンドにお金を払ってまで乗らないというところもあるのかなというところも正直ある。いろいろな観点から考えて、料金の公平性、統一性というところから、バスについても同じ運賃でやるという形の選択をさせていただいた。 ・なかなか説明がうまくできず、ほかの方も同じような形でパブリックコメントでもそういった意見は求められている。運賃の方針としてはそういう形で料金を検討させていただいたという流れのところでの説明になってしまう。
小田委員	・きんちゃんバスの運賃改定も令和 7 年 10 月 1 日からということによいか。ルートの見直しについてもスケジュールもあるので、情報を共有いただきたい。 ・今の議論であるが、改定について、確保維持というところが理由の 1 つなのかなと思っている。どうしてもお金がかかっている、そもそもなくなってしまうというのは、今回縮小する部分もあるが、維持していくためにというところの理由づけをきちんとしていただくとご納得いただけるかなと思う。 ・実際に 100 円というのはバスの感覚で言うとほぼ最低価格というか、これより安いものはなかなかない。安いのは安いと思う。公平性の話、受益者負担の話もあるが、75 歳以上であればタダだったということをやっていたということもあるが、ほかの利用者からすれば 200 円払っているのにというところもあったのかもしれないと思う。 ・ぜひご協力いただけるといいのかなと思う。回数券とか定期券が 2000 円で

	1 カ月使えるということなので、毎月相当数利用される方にとっては非常に安くなるため、そういったところをご周知いただき、負担は少ないものだと思いますが、タダから比べるとどうしても負担があると思うので、丁寧にご説明いただいてご理解いただければと思う。 ・実施にあたっても周知いただければと思う。金額については特段問題ない。
中川委員	・料金的な部分については、同じような話になるのだが、そもそもデマンドのほうが無料にならなかったのかという議論があるのかなというのがあるが、あくまでも路線維持にかかる費用が高騰しているという中で、今回新しい実証運行がたまたまあったということであるが、それをなくしても、公共交通を維持していくためには何らかのご負担を利用者からいただかなければいけない。もちろん税金で動いているものであるもので、使われていない方から見てもちゃんと支払っていただいているというところを含めて、見せるということではないが、公平性という部分においては 100 円をいただくということについてはそんなに異論はないのかなと個人的には思う。 ・たまたまチョイソコが始まるというだけのことであって、運賃の見直しは我々もさせていただいているので、維持をしていくためにはどこかのタイミングでは考えていかなければいけない話だったのではないかという説明をしていけばよいのかなと思う。
小田委員	・回数券や定期券はどこで買えるのか。
事務局	・購入場所は市役所等の公共施設と三重交通の営業所に FAX で申し込んでいただければよい。 ・回数券は車内でも買える。
部会長	・それぞれの立場からのご意見をいただいた。ほかにご質問はあるか。 ・ほかにご質問、ご意見はないようである。 ・ご承認いただける方は挙手をお願いします。 （賛成者挙手） ・全員賛成ということで、料金運賃部会の協議事項についてはこれで終わりたい。事務局に進行をお戻しする。
5. 閉会	
事務局 (村上)	・きんちゃんバスの運賃改定については、この後の公共交通活性化協議会において資料の改定内容でご承認いただいたことをご報告させていただく。 ・ルートの一部修正等に関する書面審議の際はご面倒をおかけするが、よろしく願います。 ・以上で運賃部会を終了する。
	以上